

令和 6（2024）年度 資源評価調査状況報告書（拡大種）

アイゴ瀬戸内海東部

対象水域	瀬戸内海東部	参画機関名	水産研究・教育機構 水産資源研究所 社会・生態系システム部、岡山県農林 水産総合センター水産研究所、香川県 水産試験場、徳島県立農林水産総合技 術支援センター水産研究課
------	--------	-------	--

- ・ 令和 5 年度資源評価調査報告書を公表済み（https://abchan.fra.go.jp/wpt/wp-content/uploads/2024/03/trends_2023_192.pdf）、次回令和 8 年度を予定

(1) 調査の概要

- ・ 機構は漁獲量以外の情報についての検討と生物学的特性に関する文献調査を実施
- ・ 各県は漁獲統計調査を実施
- ・ 本年度は資源評価調査報告書の作成は行わず、漁獲統計等の更新および関連情報の収集を実施

(2) データ収集状況

- ・ 岡山県では2020年～2023年の県下3漁協の月別漁獲量を収集済み
2024年以降の月別漁獲量を収集中
- ・ 香川県では播磨灘（3漁協）および備讃瀬戸（1漁協）の標本漁協における2002年～2023年の月別漁獲量を収集済み
2024年以降の月別漁獲量を収集中
- ・ 徳島県では播磨灘（1漁協）、紀伊水道（1漁協）、紀伊水道外（1漁協）の標本漁協における2003年～2023年の月別漁獲量を収集済み
2024年以降の月別漁獲量を収集中
- ・ 機構では漁獲量以外の利用可能な情報（漁法、努力量等）について情報収集中

(3) 生物学的特性

- (1) 分布・回遊：令和 5 年度資源評価調査報告書を参照（https://abchan.fra.go.jp/wpt/wp-content/uploads/2024/03/trends_2023_192.pdf）
- (2) 年齢・成長：同上
- (3) 成熟・産卵：同上
- (4) 被捕食関係：同上

(4) 備考

漁獲量データが得られるのが一部の小型定置網に限定されている上に、アイゴの消費が減ることで水揚げがなくなる漁協も出てきたことから、データの種類やその収集方法

について引き続き検討が必要である。